

新城市民病院研修レポート

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

研修医 2 年目

研修期間 2021/07/12-2021/08/06

新城市民病院では主に外来研修をさせていただきました。今まで入院患者を継続的に診る機会はたくさんありましたが、外来で継続的に診るという経験は初めてでした。外来では common disease が溢れていて、高血圧や糖尿病、高尿酸血症などに対する介入をすることができました。common disease への対処はどこの専門科に進んだとしても、必要となる知識であり、医師としてできて当たり前なところがあるため、学ぶことができて良かったです。また健診異常で受診された患者さんを初めて診療することができました。自覚症状がなく、困っていることが特にないという方に対しては、こちらから情報を探っていくことが重要であり、リスクの高い患者には生活指導を行います。

また訪問診療や診療所での研修も体験することができました。訪問診療では終末期の方がほとんどでしたが、最期を自宅で迎えられる幸せな光景を目にすることができ、自分の終末期も見つめ直すことができました。印象的だったのは肝臓癌の末期の方で本来であれば禁酒をした方が良いかもしれないが、「好きなものを食べて、飲んで最後を迎えられるならば本望だ。」と日本酒を梅割りで飲んでおられました。病気とうまく付き合っていくこと、病気を治すことだけに人生をしばられてはいけないと感じました。診療所では当日に血液検査の結果が分からなかったり、採用されている薬も少ないなど限られた資源の中で、うまく工夫しながら診療をこなす先生方を見学しました。診療所では検査できないがすぐに検査した方が良いと思われる症例や入院が必要となりそうな症例の見極めが非常に重要となります。

入院患者の診療も主体的にすることができました。尿路感染症の患者では抗菌薬による治療をするだけでなく、リハビリや食事、薬の調整など名古屋第一病院では経験できなかった、入院患者の包括的な診療を行いました。入院となった疾患以外にも高齢者では ADL の自立を図ることや、併存疾患の管理、退院後の方針など考えなければいけないことがたくさんあり、またかかりつけ病院への報告書の作成なども行いました。

新城市民病院で 1 ヶ月間研修を行って、外来での診察技術や診察した患者の病歴要約・振り返り、テーマ発表、EBM 勉強会、読影勉強会、入院患者の管理、訪問診療、診療所見学など本当にさまざまなことを経験することができました。患者さんも暖かい人ばかりで本当に充実した日々になりました。丁寧に指導して下さった上級医の奥原先生をはじめとして新城市民病院で働くたくさんの方にお世話になりました。1 ヶ月という短い期間でしたが、本当にありがとうございました。

